

# 第46回 土木史研究発表会



2026年6月27日(土)・28日(日)

会場:熊本大学 理学部本館

(熊本県熊本市黒髪2丁目39(黒髪南地区))

2016年3月25日撮影(地震前)

## シンポジウム (ハイブリッド開催)

### 災害からの復興と土木史

2026年6月、2016年4月に震度7の強震に二度襲われた熊本地震から10年が経ち、2020年7月に球磨川流域などが被災した令和2年7月豪雨災害から6年が経った。また、昨年8月には熊本県内の複数箇所が豪雨災害に見舞われ、高齢社会における激甚災害はあとを絶たない。本シンポジウムでは、地震や風水害、さまざまな災害からの復興における「土木」のあり方、永く地域の暮らしを支えてきたインフラ・マネジメント、息の長い地域との向き合い方について、参加者の皆様とテイスカッションしたい。

2026年6月27日(土) 16:30~18:00

会場:熊本大学 工学部百周年記念館

〔登壇者〕 星野裕司 氏(熊本大学・教授)  
矢野和之 氏(株式会社文化財保存計画協会・代表取締役 / ICOMOS JAPAN 事務局長)  
林 倫子 氏(関西大学・准教授)  
〔司会〕 田中尚人 氏(熊本大学・准教授)

懇親会 18:30~20:00

会場:熊本大学 TKU×マイスティア カフェテリア(生協食堂)  
参加費:一般4,000円 学生1,000円 (いずれも予定)  
※研究発表会会場で受付します

## エクスカーション

### 国宝「通潤橋」をめぐる



2026年6月26日(金)

13:00 集合 市民会館シアーズホール夢ホール  
(熊本市民会館 熊本県熊本市中央区桜町1番3号)

~マイクロバスにて国宝「通潤橋」を見学~

18:00 解散(予定) 集合場所まで帰ってきます

定員:20名(予定) 参加費:一般 未定  
申込:詳細が決まりましたら、土木史委員会のHPにてご案内します。

## 研究発表会 (ハイブリッド開催)

2026年6月27日(土) 8:45~16:00

時間	1階 C122	2階 C226
8:45	開会挨拶	
9:00~11:05	水の付き合い①	選奨土木遺産
11:15~13:20	水の付き合い②	土木遺産の保存・活用①
14:20~16:00	熊本地震10年と災害	交通

2026年6月28日(日) 8:30~16:35

時間	1階 C122	2階 C226
8:30~10:35	人物と技術史	土木遺産の保存・活用②
10:45~12:50	都市計画史	土木遺産の持つ多様な価値
13:50~15:55	土木史一般	港湾
16:05~16:15	若手優秀講演賞表彰	
16:25~16:35	総括と閉会挨拶	

## 申込・参加費

研究発表会・シンポジウム・エクスカーションの申込および参加費等の詳細は、土木史委員会のHPにてご確認ください。いずれのプログラムも、一般の方の参加可能です。

プログラム	参加費	申込締切
シンポジウム	無料	6月22日(月)まで
研究発表会	一般:6,000円 学生:3,000円 ※講演集PDF配信込み	クレジット申込: 6月20日(土) 17:00まで コンビニ申込: 6月13日(土) 17:00まで
土木史研究講演集のみ	PDF配信:3,000円 オンデマンド印刷:実費 ※事務局にご連絡ください	
エクスカーション	参加費:未定	HPにて案内 ※定員になり次第募集を終了します

土木学会CPDプログラム

6月27日(土) 研究発表会:5.9単位

6月28日(日) 研究発表会:6.5単位

シンポジウム:1.5単位



主催:土木学会土木史委員会